

令和4年度 札幌駅前通地下広場事業報告書

1 管理業務の実施状況

(1) 管理業務全体について

令和4年度札幌駅前通地下広場業務計画書に基づき、札幌駅前通地下広場の管理業務を実施しました。

札幌駅前通地下歩行空間は、札幌の玄関口である「札幌駅」と、古くからの商業地である「大通」をつなぎ、さらに、北日本最大の歓楽街である「すすきの」まで接続することで、各地区間の回遊性を高めるとともに、通路の両側および交差点下に広場空間（以下「広場」）を設け、新たな札幌の魅力を発信する重要な空間となっています。札幌市の所管各部局の協力を得て、前回の指定管理期間の利用実績も踏まえ、単なる地下通路とならないために、制約もありながらも利用者にとって利用しやすい仕組みをつくり、にぎわいをつくるように心がけ、安定した管理業務を実施しました。

(2) 令和4年度の事業目標として掲げた4項目について

広場は、施設のコンセプトを設け、重要性に鑑み、指定管理者として施設の効用を発揮するようなイベント、効果的PRを行うとともに、「公の施設」という性質から、その利用が営利目的に偏らないような空間を目指して業務を実施しました。

各事業目標	実施状況
①「札幌の顔」となる空間としての価値創造（ブランディング）の推進とにぎわいの創出のために ○札幌・北海道の魅力発信 ○札幌独自の都市文化の創造	札幌のみならず北海道各地のイベント案内や、観光PRのために観光振興・集客交流・企業活動の活性化を目指しました。
② 様々なひと・もの・ことが主役となれる場の提供のために ○市民活動の促進 ○人に優しいホスピタリティ空間 ○国際的な視点での交流促進	休憩スペースを多数設置するなど、人に優しい空間演出を行い、また、営利企業に限らず、市民活動を含めた幅広い主体への貸出を行いました。また自主事業として案内所を設置しました。
③ 札幌駅前通地下広場を起点とした新たなまちづくりのシステム構築のために ○ エリアマネジメントの推進 ○ 活発な自主事業・地域活性化活動の実施	ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響から広場の利用が少なくなりましたが、令和4年度は広場の利用も増加し、目標としていた収益は上げることができました。また、安心・安全に利用いただけるようにするため、利用者とは、事前に新

	型コロナウイルス感染防止対策の確認を十分に打ち合わせることで、当日のイベントが円滑に行えるように取り組みました。
④ 効率的管理運営の推進のために	札幌市が定めた条例・規則に則り、申請手続きや接客、事務処理等において、平等利用及び透明性の確保に努めました。業務の拡大に伴い適宜人員配置を見直し、限られた人員の中でも、効率的に業務が行えるよう、社員一同創意工夫するとともに、経費縮減に努めました。また利用者には不便をかけることのないよう、速やかに行動することをモットーに運営してまいりました。

(3) 平等利用の確保に向けた考え方と取組

札幌市が定めた条例・規則に則り、申請手続きや接客、事務処理等において、平等利用及び透明性の確保に努めました。また市民にとってより身近な親しまれる施設になるような対応に努めました。

■実施した取組

- ・幅広い情報媒体を使つてのプロモーション活動や遠方の方でも利用しやすい仕組みとするため、インターネット、電話等での簡便な申請手続きを確立し、利用機会の増進を図りました。
- ・利用しやすいよう、社員には各種研修を受講させ、ホスピタリティのある接客や、素早い事務処理などの能力を身に付けることに努めました。
- ・利用者の属性や団体の目的などにより、不当な差別的取扱いが生じないよう心がけました。
- ・記録・モニタリング・報告・評価について適切に対応しました。
- ・オンライン説明会を実施し、遠方からの利用者への対応も行いました。

2 統括管理業務の実施状況

(1) 業務計画全体について

業務計画書に記載した基本方針に基づき、計画どおりの人員体制と勤務体制で実施しました。

ア 責任者の配置、組織の整備

■ 基本方針

地元に根付き地域関係者と密に連携しながら業務を行うことを重視した、柔軟かつ機動的な組織とし、以下の体制での運営を行いました。

管理運営業務の統括責任者を統括マネージャー、統括責任者の職務代理者を営業・管理グループ長とし、自主事業の実施等に関わる責任者を統括マネージャーとして、計 11 名の職員で業務を行いました。

職務分掌や、決裁に関しては当社処務規定に基づき、業務が滞ることなく円滑に行えるような組織体制を整備し、緊急時には、スタッフから各部門責任者・統括責任者までの連絡体制を整えることで、迅速な対応に心がけました。

■ 緊急時の対応

緊急時には供用時間外にも必要な連絡体制を整えるとともに、担当社員が、現場対応できる体制を整えました。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用者への対応等も速やかに実施いたしました。

イ 従事者の確保、配置

(ア) 職員配置計画・職員採用計画

指定管理者として適切な業務運営を実施するために、統括マネージャー 1 名を責任者に、担当職員を 9 名配置し、業務を行いました。

■ 人員体制

	職員	勤務形態
経営・企画グループ	統括マネージャー (1)	週 5 日勤務
	経営・企画グループ長 (1)	週 5 日勤務
	正社員 (2)	週 5 日勤務
営業・管理グループ	営業・管理グループ長 (1)	週 5 日勤務
	営業・管理副グループ長 (1)	週 5 日勤務
	正社員 (4)	週 5 日勤務
	パート (1)	週 4 日勤務

ウ 労働関係法令の遵守、雇用環境の維持向上

施設の供用時間が午前 6 時 00 分～翌日午前 0 時 30 分と早朝・深夜に及ぶこと、イベントの開催や設営・撤去等で不規則な勤務時間や土日祝日勤務の必要があることから、社員においてはシフト勤務制を適用し、業務の実行に支障のないよう、効率的かつ柔軟な勤務形態としました。

なお勤務条件等については、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、社員それぞれの希望に応じて、「仕事」と子育て地域活動等の「OFF の時間」の調和がはかれる状態を配慮しました。育児や介護をしながらでも安心して就業できる環境整備を行うことが重要であるという認識のもと、子育て世代への支援手当の支給や、法令上は無給でも差し支えない看護休暇の有給休暇化、育児・介護を行っている社員に対する就業時間の弾力的運用、在宅勤務・リモートワークなど、様々な施策を実施しました。また在宅勤務・リモートワークを円滑に行えるよう、セキュリティに十分配慮した上で、データ等を社外でもアクセスできるようにいたしました。

(2) 管理水準の維持向上に向けた取組

限られた人員体制で効率的な管理運営を実施するため、以下の取組を実施しました。

① スタッフミーティング

2週に1度、スタッフミーティングを実施し、業務の進捗、問題点の相談、フィードバックなどについて確認や意見交換を行いました。また3か月に1度、役員を含めた全体会議を実施し、情報共有や意見交換を行いました。

② 引継ぎの徹底

業務の情報共有や利用者などからのトラブル防止を目的に、シフト交替時には、業務の引継ぎを十分に行いました。

③ 業務マニュアルの整備

業務のプロセスを分析し、業務ごとにマニュアルを整備しました。マニュアルの活用により、複数の業務を処理できる人材の育成に努めています。

④ 研修の実施

地下広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上させるため、研修・意見交換会に参加しました。(資料1 研修結果報告)

(3) 第三者に対する委託

広場は、一日におよそ9万人の人流がある地下歩道の一部に設置される公の施設です。したがって、広場の利用者はもちろん、歩行者に対する十分な配慮が求められます。

そこで、両者に対して、快適かつ魅力ある空間を提供していくため、高水準の技術やサービス・ノウハウを有する事業者には、一部の業務を委託しました。委託業者には月次報告書、完了報告書を提出してもらい、履行確認を行いました。委託業者は、以下のとおりです。

業務内容	契約日	委託業者	契約額 (消費税等 込)	履行完了日	弊社 担当
施設の清掃業務	令和4年 4月1日	日興美装工業(株)	10,230,000円 (プロポーザル)	令和5年 3月31日	経営
常置庫管理業務	令和4年 4月1日	日興美装工業(株)	3,141,600円 (随意契約)	令和5年 3月31日	経営
巡回点検業務	令和4年 4月1日	(株)キタデン	3,326,400円 (随意契約)	令和5年 3月31日	経営
大型映像設備の 保守管理業務	令和4年 4月1日	(株)テクノラボ	2,277,000円 (随意契約)	令和5年 3月31日	経営
大型映像装置の 運営業務	令和4年 4月1日	札幌テレビ放送(株)	9,900,000円 (プロポーザル)	令和5年 3月31日	経営

映像広告に関する 広告代理業務	平成 23 年 3 月 1 日	(株)オリコム札幌支店	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 23 年 3 月 1 日	(株)近宣札幌支店	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 23 年 3 月 1 日	(株)電通北海道	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 23 年 3 月 1 日	表示灯(株)札幌支店	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 23 年 3 月 1 日	(株)北海道博報堂	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 23 年 3 月 1 日	(株)ノヴェロ	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 27 年 4 月 1 日	(株)東急エージェン シー北海道支社	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 27 年 4 月 1 日	(株)道新サービスセ ンター	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 30 年 3 月 1 日	(株)えんれいしや	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業
	平成 30 年 4 月 1 日	(株)NKB 北海道支 社	0 円	令和 5 年 3 月 31 日	営業

(4) 札幌市及び関係機関との連絡調整

管理運営水準及びサービスの維持向上を図るため、札幌市や関係機関との協議の場を設置し、必要に応じて連絡調整を行いました。

■ 札幌駅前通地下広場運営協議会（以下「運営協議会」という。）の実施

① 運営協議会の開催

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容	
運営協議会	6/30	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度の稼働状況 ・令和 4 年度の上期稼働状況 ・その他
運営協議会	10/6	<ul style="list-style-type: none"> ・広場利用状況 ・その他
運営協議会	12/22	<ul style="list-style-type: none"> ・広場利用状況 ・アンケートの実施状況

		・その他
運営協議会	3/20	・広場利用状況 ・アンケートの実施状況 ・その他（新年度からの利用促進）

※その他必要に応じて適宜打ち合わせを開催した。

※協議会メンバー：

札幌市都市交通課、札幌市都心まちづくり推進室、地域代表者、
札幌駅前通まちづくり株式会社

② 協議内容

- ・指定管理業務の運営状況報告
- ・管理運営に係る各種規程、要綱、マニュアルの作成及び改定
- ・広場の市民サービスや管理運営水準の維持向上に向けた取組など
- ・その他協議会での協議を必要とするもの

③ 記録及び周知

運営協議会の内容は記録し、要旨を作成して、札幌市に報告しました。

■ 関係機関との連絡調整

当施設には、道路空間の一部に設置される公の施設であるとともに、一部国道区間も含まれることから、管理業務の遂行にあたり、市以外の関係行政機関との連絡調整を円滑かつ的確に行いました。

特に、地下歩行空間全体を使用する大規模イベントや混雑が予想されるイベント等については、案件毎に関係機関に事前相談を行い、円滑な実施と通行者の安全確保に努めました。

(5) 苦情対応

広場の利用者や地下歩道の通行者などからのご要望や苦情（以下「苦情等」）は、管理運営やサービスの水準を高める好機と捉え、迅速かつ適切に対処しました。今期はこうした要望等を踏まえ、より適切な利用が行われるように利用規約の見直しを行いました。

・方法

要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、全社員に周知しています。回答内容を全社員で共有しています。問合せについては、3日以内に返答するようにしている。電話によるものについては、受けた者が「苦情ノート」に回答内容も含めて記入し、情報共有しています。また問合せ・要望については、月次報告書で広場管理者に報告し、札幌市関係部局にスムーズに引き継ぎました。地下広場以外のお問い合わせの際は、札幌市の各所の連絡先をご案内しました。

(6) 記録・モニタリング・報告・評価

当社は、管理運営の水準及びサービスの維持向上を図るための手段として、記録・モニタリング・報告・評価について、誠実かつ適切に対応するとともに、管理運営に関する情報を適時適切に開示し、信頼性・透明性の確保に努めました。

これらの実施にあたっては、管理運営に関する課題や問題点を早期に発見して、継続的に改善を図る仕組みを構築していきました。

- ・今年度実施したモニタリング（資料2 札幌駅前通地下広場アンケート集計）
 - 札幌駅前通地下広場利用者アンケート
 - 通行者アンケート
 - ビジョン放映視聴頻度調査

3 施設・設備等の維持管理に関する業務の実施内容

(1) 業務計画全体について

業務計画書に記載した基本方針に基づき、ほぼ計画どおり実施できました。また、適切な施設賠償保険（指定管理業務プラン）に入りました。

(2) 具体的な維持管理業務

■ 清掃業務

日常清掃、定期清掃、塵芥処理とも、日興美装工業株式会社に委託して実施しました。利用者が安全かつ快適に利用してもらえる環境を整えるとともに、収集及び回収した塵芥は、廃棄物処理に関する関係法令に基づき、適切な処理を行いました。また、収集場所においては、分別を徹底し、衛生的な環境を保つように心がけました。特に今年度は貸出備品等の消毒を都度行い、より一層安心して利用いただけるよう努めました。

■ 設備の保守点検業務（大型映像設備の運営及び保守）

① 大型映像設備保守業務

広告、行政情報、イベント等の映像を、適時に最良な状態で発信するため、株式会社テクノラボに委託し、設備の日常点検、各機器の設定等の確認を適切に実施しました。不具合が生じた場合は広場管理者に報告しました。また、映像モニタの汚れ除去や輝度調整についても、定期的に点検しました。

② ピクチャーレール、ライティングレール、活用コンセント

利用者の安全確保を第一に考え、設備の劣化や損傷がないか、巡回して点検しました。

■ 修繕（資料3-1 修繕記録）

利用者の安全を確保し、設備の機能を良好に維持するため、破損、故障等が発生した場合は、速やかに原因を究明し、必要な対応を行い、その結果は、遅滞なく広場管理者に報告しました。

■ 備品管理（資料3-2 備品点検表）

備品の管理については、備品台帳を作成し、適切な場所に保管しました。また、利用者からの返却時には、個数及び状態等の確認を確実にするとともに、月に1度備品点検日を設け、入

念にチェックしました。

(3) 防災業務計画

火災、震災その他の災害発生時に即応できるよう、防災・安全管理体制を確立し、災害時における被害軽減及び人命の安全確保を図ることを目的として、防災研修を行いました。今年度からは、弊社が事務局を担う「札幌駅前通地区防災協議会」にて、札幌駅前通地下歩行空間防災センターと接続ビル 11 か所の防災センターを繋ぐ「防災情報伝達システム」の操作方法習熟と機器不具合を早期に発見、修理することを目的に、定期訓練に参加しました。また、日々の巡回の中で避難口・消火器等の位置などを確認しました。

■「防災研修」：(資料 4 防災研修記録)

4 事業の計画及び実施に関する業務の実施内容

設備を活用した情報発信及び必要なコンテンツ等の収集に関する取組と実施結果

(資料 5 大型映像装置稼働割合)

広場の設置目的である、にぎわいの創出の実現に向け、大型映像設備の一般利用及びイベント実施時利用を除く時間において、情報発信を実施計画に基づき積極的に行いました。

5 施設の利用等に関する業務

(1) 交差点広場等貸出計画について (資料 6 利用状況報告書)

業務計画に基づき、業務を実施しました。

(2) 利用促進計画について

広場の活用促進がにぎわいを創出し都心の回遊性を高めるとの認識のもと、貸し出しサービスの向上や市民に喜ばれるアート企画の実施など、職員一同総力を挙げて努力して参りました。

令和 4 年度は、春先に利用を手控える動きが見られたものの、期中は市有施設の休館措置が取られなかったことから徐々に利用が回復し、地下広場の貸出度合を示す主要貸出場所の年間稼働率は約 92%となり、当初目標である 80%を上回ることができました。

広場は「創造都市さっぽろ」をアピールする場としての空間演出や、札幌の「顔」に相応しい高質な空間であることが求められており、札幌市はその空間活用のコンセプトである「“創造都市” 発信空間」、「“にぎわい” 演出空間」、「“ホスピタリティ” 空間」を基に空間づくりの目標像として「札幌（北海道）の顔となり、先進性、独自性のあるにぎわいを演出する高質な空間」を掲げております。

広場の活用コンセプトに基づく利用を促進するために、ホームページの内容については随時見直し、利用者に分かりやすい情報発信を行いました。ホームページの 1 日あたりの平均閲覧数は 18,762 件（令和 3 年度は 11,138 件）となりました。また、利用者のイベント情報を発信するため、利用者が直接スケジュールを投稿できる仕組みを作ったほか、地下歩行空間の大型

映像装置と連動することで、様々なイベント開催スケジュールを掲載することができました。今後もホームページからの本申請受付を増やすことで、様々なイベント情報を通行者にも届けたいと考えています。なお、ホームページ運用にあたっては、札幌市公式ホームページガイドラインを参考に運用したほか、ウェブアクセシビリティについては、JISX8341-3:2016の適合レベルに準拠できるようにしました。

コロナ禍で始めたオンライン利用説明会の開催を継続して実施し、実際の利用予約につながりました。こうした説明会を通じ、引き続き利用促進につなげていきたいと考えています。

6 管理業務に関する収支決算書（資料7 収支報告書）

(1) 収益・費用について

利用料金収入は令和3年度より増加し、年度当初予算額を達成することができました（予算達成率119%、2021年度比163.2%）。支出においては、適切に処理を行いました。

支出については、会社経費の節減、利用者へのサービス低下を招かない範囲での業務効率の向上などに努めていきたいと考えています。

またこれまで以上に、安心・安全に使用できることや活用コンセプトを発信し、広場の存在を広くPRするなどして、利用者の拡大を図りたいと考えています。

(2) 利益還元について

協定書に基づき、地下広場の備品等の修理を実施しました。また、利益還元の一環として、貸出備品を更新しました（金額：437千円）。

7 札幌駅前通まちづくり株式会社（資料8 令和4年度貸借対照表／損益計算書）

今期の事業収益については、売上高は264,180千円（対前期比130.3%）、営業利益は11,148千円（前期の営業損失38,413千円）、経常利益は22,635千円（対前期比68.3%）、当期純利益は21,401千円（対前期比99.2%）となりました。主催イベントの見直しや販売費及び一般管理費の削減などを進めた結果、黒字を確保いたしました。

8 自主事業の実施について（資料9 自主事業の実施状況、資料10 自主事業収支報告書）

令和4年度は、各関係機関のご協力を得て、広場内に休憩場所を設けたまちなかサロン事業（憩いの空間／接続空間）、案内所設置、市民活動促進のためのパンフレットコーナー設置事業、東日本大震災による被災地の復興支援を目的としたチャリティイベント等支援事業を昨年度から継続して行いました。またコロナ禍以後数年ぶりに実施する事業も増え、広場の設置目的に沿った事業を進めることができました。

9 環境配慮への取組について（資料11 環境配慮への取組結果）

業務計画書に記載した基本方針に基づき、実施しました。

資料1 研修結果報告

札幌駅前通地下広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上させるため、研修・意見交換会に参加しました。

○広場の活用クオリティをあげるための専門性の向上

■第9回 全国まちなか広場研究会 in 横浜

日時：令和4年11月25日（金）13:00～18:00

主催：全国まちなか広場研究会

参加目的：全国各地の広場運営者との情報交換を通し、広場の運営に活かすため。

内容：全国まちなか広場研究会は、全国の広場や交通施策などに関わる人たちが交流し、見聞を広め、自己研さんすることを目的に、毎年1回、各都市の持ち回りで開いている。「言葉と身体で育む広場」をテーマに、横浜で次々と広場的空間が生まれる背景について行政の制度も踏まえてのレクチャー及び、3つのセッションに分かれて都市部、郊外部で活躍する12名の横浜のヒロバニスト（ここでは広場を育む人という意味）によるプレゼンテーション+対話を行い、広場に関わる人、もの、コトなどについて議論を深めた。

○エリアマネジメントに関する専門性の向上

■全国エリマネ若手実務者会議 フィールドワーク

日時：令和4年8月9日（火）～8月10日（水）

主催：全国エリアマネジメントネットワーク

視察先：一般社団法人二子玉川エリアマネジメント、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人淡路エリアマネジメント、一般社団法人新虎通りエリアマネジメント

視察目的：全国のエリアマネジメント先進事例の学習と他都市のエリアマネジメントの実務担当者との情報交換を通し、札幌駅前通地区の活動に活かすため。

■全国エリアマネジメントシンポジウム 2022

日時：令和4年9月8日（木）

主催：全国エリアマネジメントネットワーク

受講目的：他都市のエリアマネジメントの先進事例を学び、札幌駅前通地区のまちづくりに活かすため。

受講形式：WEB 受講

内容：「都市にダイバーシティ&インクルージョンを ～ナイトタイムエコノミーとエリアマネジメント～」の聴講

○施設・組織運営のための実務能力の向上

■北海道庁 BCP セミナー

日時：令和4年4月25日（月）

主催：北海道経済部地域経済局中小企業課

講義の目的：防災・減災対策の重要性と事業継続力強化計画（BCP）を学び、弊社 BCP の策定に向けて参考にするため。

受講形式：オンライン受講

内容：感染症リスクに対する事業継続力強化計画について

■中央地区町内会連合会防災セミナー

日時：令和4年11月16日（水）

主催：中央地区町内会連合会

受講の目的：気候変動により今後警戒すべき災害リスクや、安全に避難するための防災情報を学び、地域防災に役立てるため。

受講形式：会場受講（札幌グランドホテル東館 3F）
内容：「気象報道最前線～札幌で多発する異常気象～」

■札幌駅前通地区防災協議会 研修会

日時：令和5年1月27日（金）
主催：札幌駅前通地区防災協議会
受講目的：豊平川の氾濫時の地下空間への影響に関するレクチャーが行われ、今後当社が事務局を努める札幌駅前通地区の防災協議会での活動や対策の参考にするため。
受講形式：オンライン受講
内容：「札幌市の内水氾濫対策」

■災害模擬体験セミナー

日時：令和5年2月17日（金）
主催：アンドレジリエンス株式会社（三井不動産グループ）
受講目的：過去の様々な災害で実際に起きた事象の追体験（シミュレーション）を通じて、人命安全確保や復旧をスピーディに対応できるように事前の計画（BCP）を訓練を通じて学び、弊社BCPの策定に向けて参考にするため。
受講形式：オンライン受講
内容：「災害模擬体験セミナー（気づきの訓練）」

■札幌五法人会 合同セミナー

「税務調査対策セミナー」
日時：令和5年1月13日（金）
主催：札幌五法人会（事務局 公益社団法人札幌中法人会）
受講形式：会場受講
受講目的：最近の税務調査の傾向や指摘される項目について理解を深め、適切な経理事務処理を行うため。

■税理士法人札幌中央会計 クラウド経営管理体験セミナー

日時：令和5年1月14日（土）
主催：税理士法人札幌中央会計
講師：株式会社 YK プランニング インストラクター
受講形式：会場受講
受講目的：クラウドソフトを使った効率的な経営管理手法を体験し、導入の可能性を探るため。

■札幌商工会議所 インボイスセミナー

日時：令和5年2月2日（木）
主催：札幌商工会議所 生活関連商業部会
受講形式：オンライン受講
受講目的：令和5年10月から導入される適格請求書等保存方式（インボイス制度）について理解を深め、適切な経理事務処理を行うため。

■令和4年度札幌市公式ホームページ担当者レベルアップ研修

日時：令和5年2月8日（水）
主催：札幌市広報部
受講形式：会場受講
受講目的：アクセシビリティ及びユーザビリティ、見やすいページの作成方法、既存ページの見直し方法等を理解し、わかりやすく利用しやすいホームページを作成するとともに、アクセシビリティ対応を進めるため。

■個人情報に関する研修

日時：令和5年3月

受講形式：オンライン動画受講 <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg25176.html>

受講目的：個人情報保護法の概要について学び、用語解説から個人情報取扱事業者が個人情報を取り扱う際の義務までの内容を学ぶため。

■環境マネジメントに関する研修

日時：令和5年3月

受講形式：オンライン受講

受講目的：環境に与える影響を十分に考慮し、省エネルギー及び省資源化の推進による温室効果ガスの排出抑制、その他環境への負荷低減に努めることにより環境への配慮に十分留意した管理運営業務を進めるため。

○その他

■労文協リレー講座

日時：令和4年12月20日（火）

主催：一般社団法人北海道労働文化協会

講義形式：オンライン受講

受講の目的：まちのこそだて研究所 gurumi で、子育てとジェンダーにまつわる講座を検討しており、講師候補者の講座を受講することで講座の企画検討に役立てるため。

内容：日本のジェンダー格差を働き方から考える

資料2 チ・カ・ホ アンケート集計

■ 利用者アンケート（夏季・冬季）/通行人アンケート/ビジョン放映視聴頻度調査

目的：①地下広場をご利用頂いた利用者の満足度や意見、要望を測り今後の地下広場の利便性向上と、お客様への接客サービスの向上を目的として実施した。

②チ・カ・ホを通行する方からも客観的な意見をいただき、全体的なバランスと調和を測ることを目的にアンケートを実施した。

③交差点広場に設置されているビジョンの視聴頻度や視聴内容について調査し、今後の放映内容を検討するため実施した。

実施：①令和4年7月（夏季）と令和5年1月（冬季）【利用者アンケート】

②令和4年12月【通行人アンケート】

③令和5年3月【チ・カ・ホ利用者意識調査】

配布・回収方法：①地下広場利用開始時アンケート用紙を手渡し、イベント終了後に回収

※各グループ1枚、複数のグループの場合は2～3枚配布。

②チカホ北3条交差点広場（東）にアンケート回収BOXを設置、自由に記載し、投函してもらうこととした。

③ネットリサーチ（北海道在住でチ・カ・ホを利用したことがある男女15～69歳を対象とした）

回収件数：①7月：31件/92件、1月：51件/135件 回答率36.1%

②12月：17件

③3月8日（水）～13日（月）：400件

主な結果：

【①利用者アンケート】

アンケート回答者の属性	夏季に実施した際には60代以上の回答者が一番多く全体の25%。10代の回答者は0。冬季実施分は30代～40代の回答者が多く全体の62%。男女比ほぼ同数。 コロナ禍になってからは札幌市内からの参加者（個人）が多くなっていったが、冬季については、企業や団体での参加が増えた。
結果概要	▽「施設・設備は良好ですか」という設問について【とても良い・良い】と回答したのは78%。 ▽「また利用したいと思いますか」という設問について【利用したい・機会があれば利用したい】と回答したのは100% ▽「総合満足度」について【満足・やや満足】と回答したのは74.3% 【不満】と回答した1件は、場所によっては人が通らないことが理由。
利用者からの意見・要望	・お客様の流れが良い。 ・室内なので雨天でも安心。

とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・集客が多い →人の流れが多く、いろんな方に見てもらいPR効果を感じられていることに満足している人が多い、新規問合せなども増えていることからコロナ禍前に戻りつつあることが感じられる。 ・北3条交差点広場で出展した際、会場の柱と柱の天井照明が暗く、出展場所としてはあまりよくなかった。消灯しているライト部分があるので、全て点灯してほしい。全部が無理でも増えると嬉しい。 →施設管理者との協議が必要。
-------	---

【②通行人アンケート】

アンケート回答者の属性	<p>男性：11人、女性：4人、未回答：2人 計17人</p> <p>10代：2人、20代：2人、30代：1人、40代：5人、50代：3人、60代以上：2人、未回答：2人</p> <p>札幌市内：14人、道内：2人、道外1人</p>
結果概要	▽施設に対する要望やイベントに関する意見が多かった。
利用者からの意見・要望とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・歩きスマホについて・左側（or右側）通行の徹底について →関係部署に意見として伝える。

【③ビジョン放映視聴頻度調査】

アンケート回答者の属性	<p>男性：200人、女性：200人 計400人</p> <p>15～29歳、30代、40代、50代、60代 各年代800人</p> <p>札幌市内在住：257人、札幌市以外在住：143人</p>
結果概要	<p>▽ビジョン放映の視聴頻度は『見ている(いつも+たまに)』が34%となっている。年代別で最も多いのは男女30代の43.8%。</p> <p>▽ビジョン放映で見ている映像は『CM映像』が最も多く、次いで『天気予報』、『道内ニュース』と続く。</p> <p>▽ビジョン放映をどう思うかについては肯定的な意見が多く、『放映は必要ない』は少ない。</p> <p>▽ビジョン放映を『あまり見ない+まったく見ない人』と答えた264人に見ない理由について聞いたところ、『内容に関心がない』『急いでいるから』が多く、『理由はない』も多くなっている。</p>
自由回答	<p>放送してほしい情報や映像については下記内容が多くあげられた。</p> <p>『グルメ・ショッピング・イベントなどの情報』→『チカホ内』や『近隣』『道内』『お買い得』の情報を求める意見などがみられた。</p> <p>『ニュースや天気予報』→リアルタイム・速報・文字放送を求める意見</p>

以上

資料3-1 令和4(2022)年度 備品・施設修繕記録簿

1_備品(指定管理)

	発生日	修繕完了日	支払日	内容	金額
1	12月28日	1月12日	2月28日	屋根付きワゴンキャスター交換	12,100

合計 12,100

2_施設

	発生日	修繕完了日	支払日	内容	金額(円)
				今年度はなし	

合計 0

3_備品/備品用消耗品購入(指定管理)

	納品日	物品名	金額(円)
1	9月13日	屋根付きワゴン専用スポットライト	37,840
2	9月16日	ベルトパーテーション用パーツ	12,320
3	10月19日	パネルセット用クリップ	35,420
4	12月16日	屋根付きワゴン専用スポットライト	63,800
5	2月20日	北3条交差点広場(西)サイネージ用コンバーター	44,000
6	2月20日	ワイヤレスマイク(ハンド用)2本	49,646
7	2月21日	ワイヤレスマイク(ハンド用)バッテリー	8,340
8	2月21日	ワイヤレスマイク(ハンド用)マイクホルダーアタッチメント	1,000
9	2月22日	プロジェクター用交換ランプ 2個	45,650
10	2月23日	音響装置セット CDプレーヤー 4台	194,120
11	3月8日	音響装置セット スピーカー 4台	146,400
12	3月9日	マイクロホン(有線) 1本	5,346
13	3月10日	台車 2台	47,184
14	3月30日	屋根付きワゴン専用スポットライト	26,400

合計 717,466

資料3-2 備品点検実績表（定期点検）

	点検日	点検者	備考
1	4月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	いずれの備品も経年の汚れが目立つ(使用に問題なし)
2	5月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	展示ボックス1つ不良。
3	6月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	展示ボックス2つ不良、音響装置セットのミキサー及びCD・USB音楽プレーヤー 1つ不良。スポットライト1つ不良。
4	7月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	
5	7月31日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	
6	9月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	
7	10月3日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	
8	11月4日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	
9	12月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	
10	1月4日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	屋根付きワゴン1つ不良→修理。
11	2月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	
12	3月1日	営業・管理グループ1名・常置場スタッフ1名	

資料4 防災研修記録

【道庁 BCP セミナーへの参加】

1. 目的

社内 BCP を策定するにあたり、BCP の基本的な知識を得るため。

2. 実施年月日

2022 年 4 月 25 日（月）

3. 研修実施場所

ZOOM で実施

4. 参加機関

北海道、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、MS&AD インターリスク総研株式会社、
経済産業省北海道経済産業局中小企業課

5. 研修内容

「感染症リスクに備えた BCP 策定のポイント」

6. 結果

社内 BCP 策定にむけ検討を続ける中、新型コロナのような感染症対策を盛り込むことが必須となっているが、その際にどのようなことが必要になるかも含め、BCP 策定の基本となる知識・情報が不足していた。

本セミナーに参加しそれらを知る良い機会となった。

【中央地区町内会連合会防災セミナー】

1. 目的

自然災害や防災に関する様々な知識を得ることで、今後の社内 BCP や防災協事務局としての活動に役立てるため。

2. 実施年月日

2022 年 11 月 16 日（水）

3. 研修実施場所

札幌グランドホテル

4. 参加機関

中央地区町内会連合会

5. 研修内容

「気象報道最前線～札幌で多発する異常気象～」

6. 結果

実際に札幌で発生している様々な気象現象や昨今の異常気象について、とても身近に感じることができ、また今後起こり得ることや備えについても、考える機会となった。

【防災研修への参加】

1. 目的

当地区において災害リスクの高い水害、特に内水氾濫について、最新の情報・知識を得るとともに、札幌市が行っている対策について説明を受け、防災協会員とともにそれぞれのビルや施設、組織ごとに対策を行う際の参考にする。

2. 実施年月日

2023（令和5）年1月27日（金）11:00～12:00

3. 研修実施場所

札幌駅前通まちづくり株式会社 会議室及び ZOOM での参加

4. 参加機関

札幌駅前通地区防災協議会会員

5. 研修内容

「札幌市の内水氾濫対策」

6. 結果

地震とともに駅前通地区で対策が求められる内水氾濫について、過去の事例紹介も含め現在札幌市で行われている対策について、札幌市下水道計画課から最新の情報を教示いただいた。

公表され活用可能なデータ、システムについても情報提供があり、防災協会員の各ビルとともに事前に準備可能なことについては備えておけるよう意識をともにしていきたい。

【防災情報伝達システム定期訓練への参加】

1. 目的

札幌駅前通地下歩行空間防災センターと接続ビル 11 か所の防災センターを繋ぐ「防災情報伝達システム」の操作方法習熟と機器不具合を早期に発見、修理することを目的とする。

2. 実施年月日

2022年4月13日（水）11:00～11:30 以降、毎月第2水曜日

3. 実施場所

札幌駅前通地下歩行空間防災センター及び各接続ビル（合計 12 か所）

4. 参加者

札幌駅前通地下歩行空間防災センター（警備、設備）

防災情報伝達システム子機を設置するビル（11 か所）

札幌駅前通まちづくり株式会社（事務局） 2名

5. 内容

当番ビルを決めて一斉通報・個別通話の機能チェックを行うと同時に、実際に発信、受信操作を行うことで、万が一の際にも迷うことなくスムーズに操作できるようにする。

6. 結果

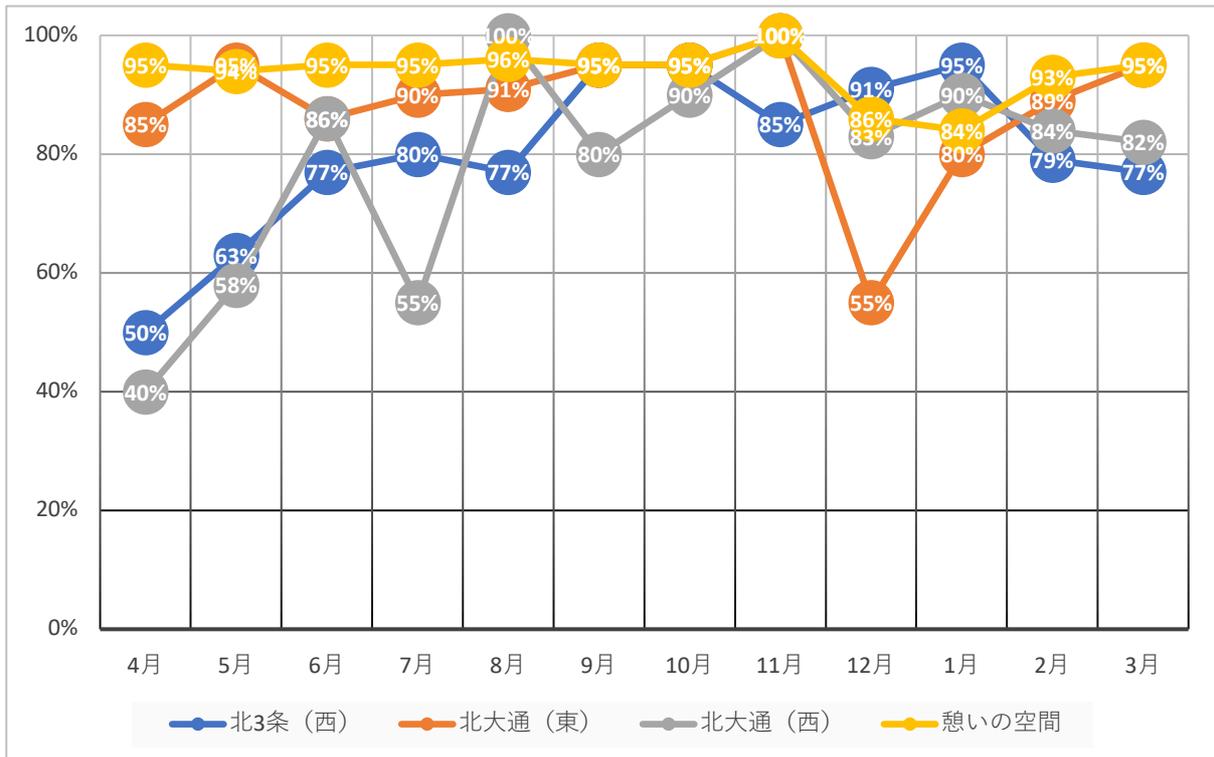
期の途中から2巡目に入ったが、定期的な訓練を継続実施していることで、不具合の早期対処（修理手配）にも繋がり、地域全体としての連絡機能を維持・回復することができた。

また、日常の貸出にあたっては、非常口・避難通路・消火栓・防火シャッター下降部分周辺、施錠部を塞がないようにし、設営資材の集積及び物品の保管等はしないよう、利用者に対して周知し、安全確保に努めました。

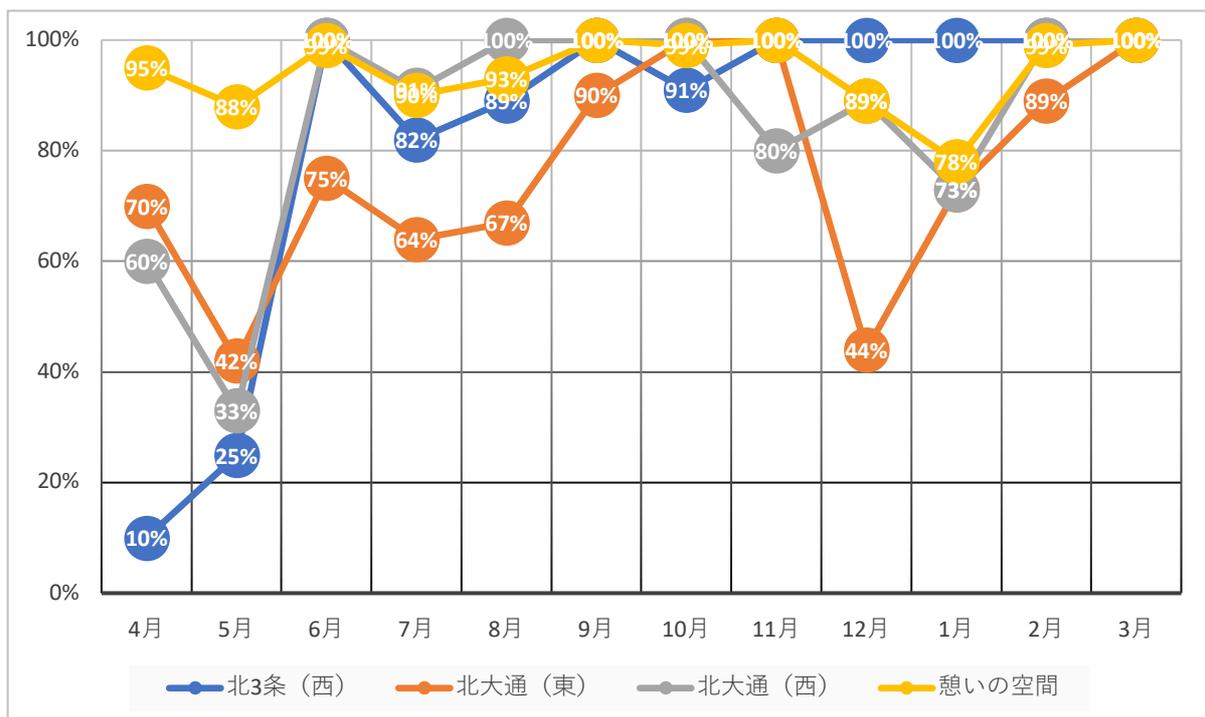
資料6 地下広場 利用状況報告書

令和4年度は、チ・カ・ホにおいては、春先に利用を手控える動きが見られたものの、期中は市有施設の休館措置が取られなかったことから徐々に利用が回復し、交差点広場4ヶ所、憩いの空間10ヶ所の主要貸出場所の年間稼働率は約92%となりました。（詳細稼働率については別表1を参照）

月別稼働率変遷（平日）



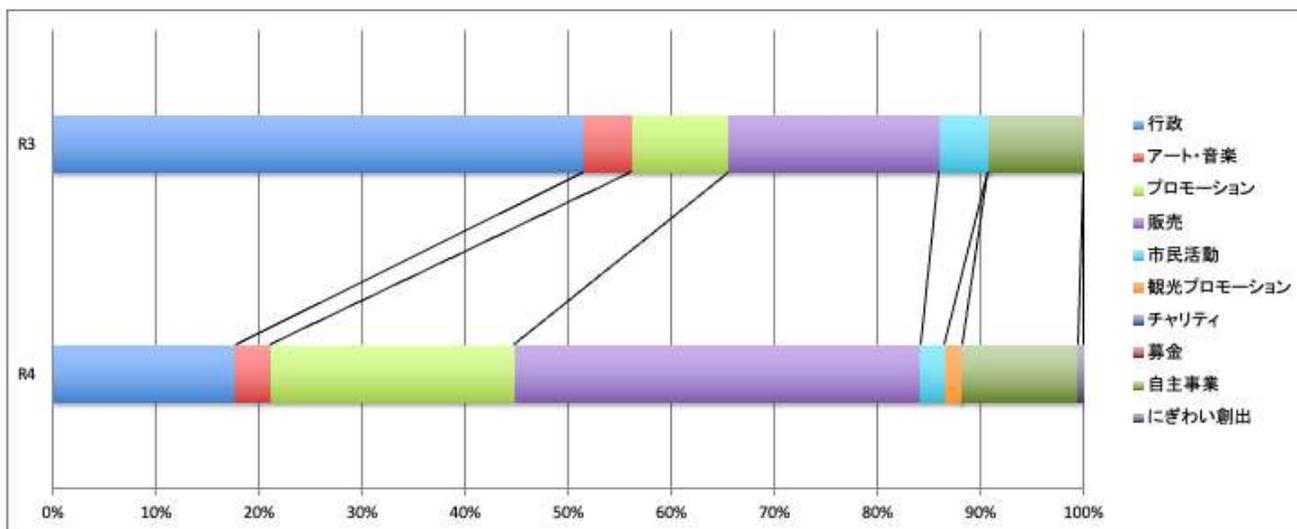
月別稼働率変遷（休日）



●北3条交差点広場（西） 295日稼働（稼働率80.8%）

表1：北3条交差点広場（西） 利用分類

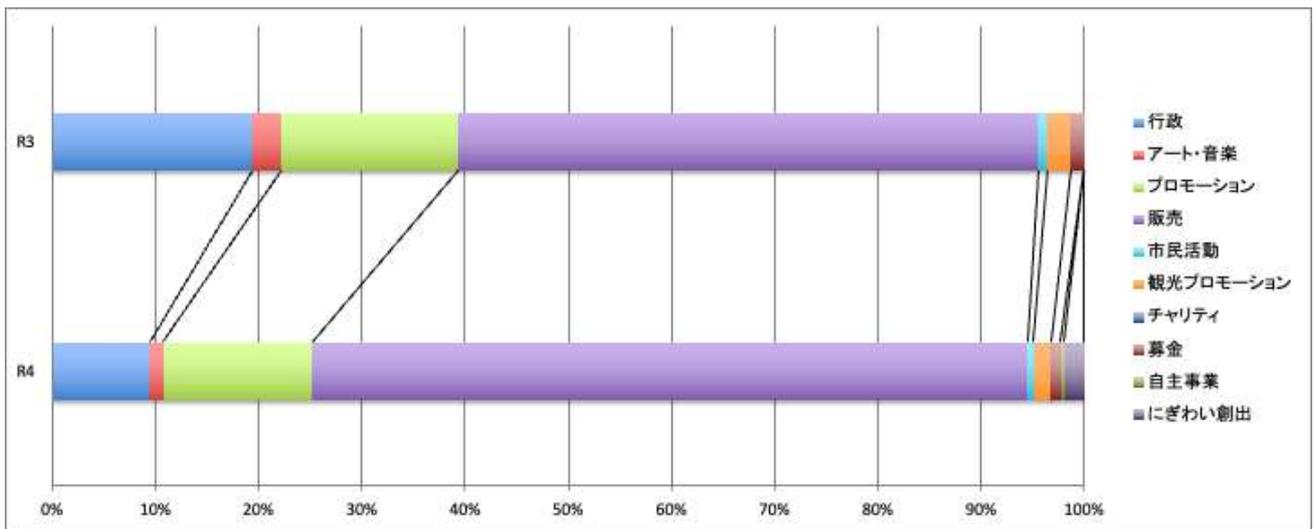
	R3	R4
行政	51.5%	17.6%
アート・音楽	4.7%	3.4%
プロモーション	9.4%	23.7%
販売	20.5%	39.3%
市民活動	4.7%	2.4%
観光プロモーション	0.0%	1.7%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	9.4%	11.2%
にぎわい創出	0.0%	0.7%
	100%	100%



●北大通交差点広場（東） 306日稼働（稼働率83.8%）

表2：北大通交差点広場（東） 利用分類

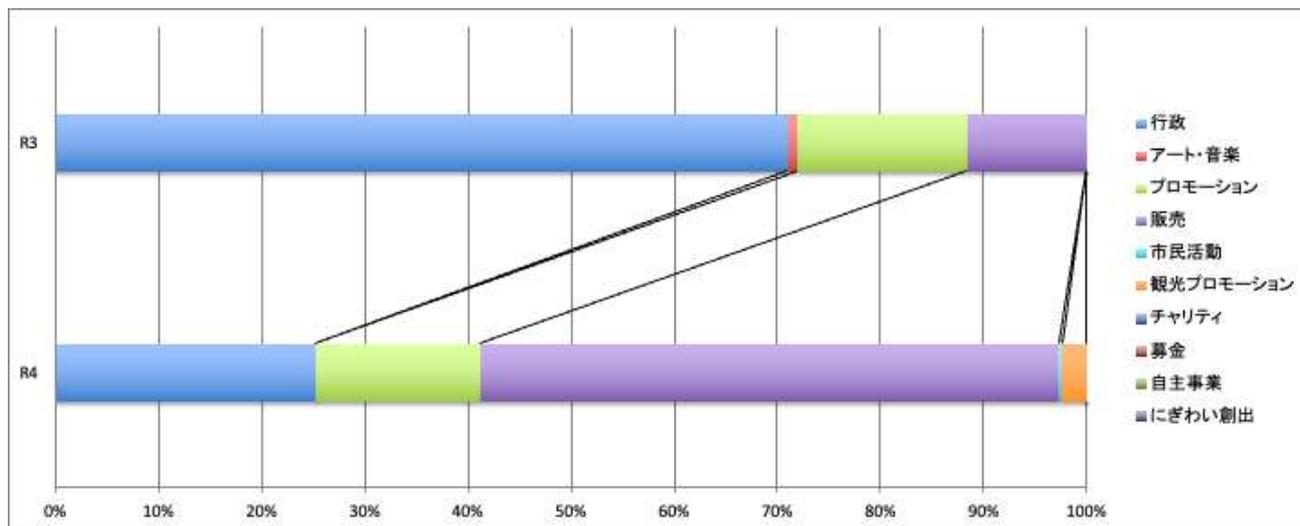
	R3	R4
行政	19.5%	9.5%
アート・音楽	2.7%	1.3%
プロモーション	17.2%	14.3%
販売	56.1%	69.3%
市民活動	0.9%	0.7%
観光プロモーション	2.3%	1.6%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	1.4%	1.0%
自主事業	0.0%	0.3%
にぎわい創出	0.0%	2.0%
	100%	100%



●北大通交差点広場（西）294日稼働（稼働率80.5%）

表3：北大通交差点広場（西） 利用分類

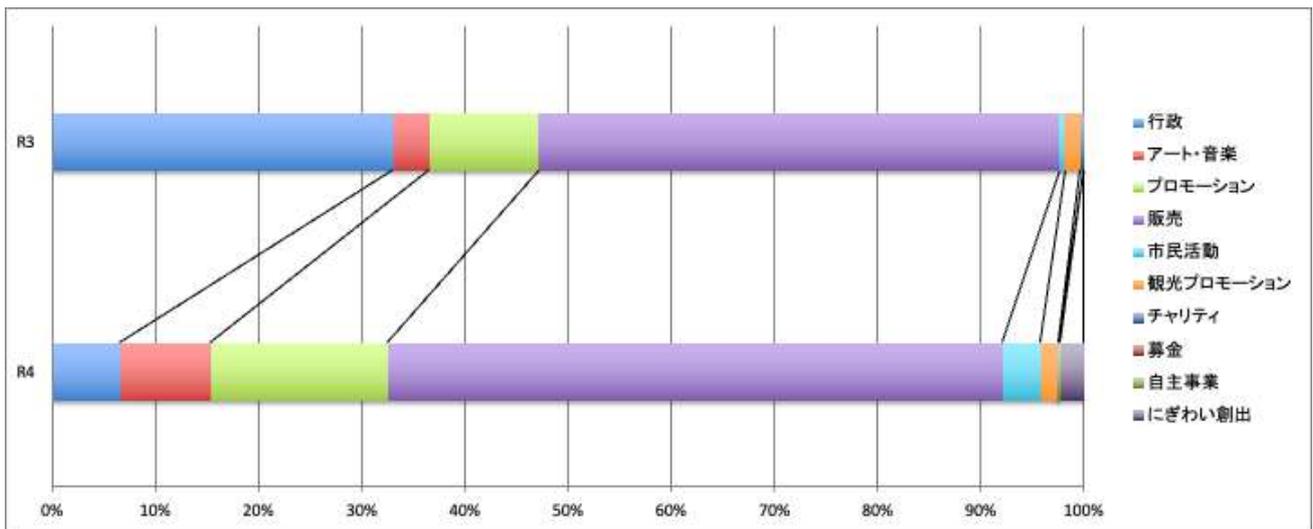
	R3	R4
行政	71.0%	25.2%
アート・音楽	1.0%	0.0%
プロモーション	16.4%	16.0%
販売	11.6%	56.1%
市民活動	0.0%	0.3%
観光プロモーション	0.0%	2.4%
チャリティ	0.0%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	0.0%	0.0%
にぎわい創出	0.0%	0.0%
	100%	100%



●憩いの空間 3,421 枠稼働（稼働率 93.7%）

表 4：憩いの空間 10 枠 利用分類

	R3	R4
行政	33.0%	6.6%
アート・音楽	3.6%	8.7%
プロモーション	10.6%	17.2%
販売	50.5%	59.5%
市民活動	0.5%	3.6%
観光プロモーション	1.5%	1.7%
チャリティ	0.4%	0.0%
募金	0.0%	0.0%
自主事業	0.0%	0.2%
にぎわい創出	0.0%	2.3%
	100%	100%



資料6_別表1利用状況報告書(令和4年度)

場所		4月		5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				2022年度合計			2021年度	2020年度			
		回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	回数		2022年度	2021年度	稼働率													
		総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績			総枠数	実績				総枠数	実績	総枠数	実績	総枠数	実績	総枠数	実績			総枠数	実績	総枠数
北3条広場	西	平日	20	10	50%	43%	19	12	63%	0%	22	17	77%	0%	20	16	80%	40%	22	17	77%	57%	20	19	95%	20%	20	19	95%	62%	20	17	85%	80%	22	20	91%	78%	20	19	95%	25%	19	15	79%	83%	22	17	77%	32%	246	188	80%	43%	54%
		休日	10	1	10%	67%	12	3	25%	0%	8	8	100%	0%	11	9	82%	45%	9	8	89%	70%	10	10	100%	20%	11	10	91%	60%	10	10	100%	90%	9	9	100%	88%	11	11	100%	82%	9	9	100%	80%	9	9	100%	56%	119	97	82%	54%	60%
	東 (案内所設置)	平日	20	20	100%	100%	19	19	100%	100%	22	22	100%	100%	20	20	100%	100%	22	22	100%	100%	20	20	100%	100%	20	20	100%	100%	20	20	100%	100%	22	22	100%	100%	19	19	100%	100%	22	22	100%	100%	246	246	100%	100%	100%				
		休日	10	10	100%	100%	12	12	100%	100%	8	8	100%	100%	11	11	100%	100%	9	9	100%	100%	10	10	100%	100%	11	11	100%	100%	10	10	100%	100%	9	9	100%	100%	11	11	100%	100%	9	9	100%	100%	119	119	100%	100%	100%				
北大通広場	西	平日	20	8	40%	67%	19	11	58%	0%	22	19	86%	0%	20	11	55%	65%	22	22	100%	57%	20	16	80%	20%	20	18	90%	86%	20	20	100%	100%	22	17	77%	83%	20	18	90%	90%	19	16	84%	83%	22	18	82%	5%	246	194	79%	54%	40%
		休日	10	6	60%	89%	12	4	33%	15%	8	8	100%	0%	11	10	91%	64%	9	9	100%	70%	10	10	100%	20%	11	11	100%	90%	10	8	80%	100%	9	8	89%	100%	11	8	73%	64%	9	9	100%	90%	9	9	100%	44%	119	100	84%	61%	45%
	東	平日	20	17	85%	95%	19	18	95%	0%	22	19	86%	0%	20	18	90%	65%	22	20	91%	57%	20	19	95%	20%	20	19	95%	95%	20	20	100%	100%	22	12	55%	83%	20	16	80%	80%	19	17	89%	61%	22	21	95%	68%	246	216	88%	61%	75%
		休日	10	7	70%	100%	12	5	42%	15%	8	6	75%	0%	11	7	64%	64%	9	6	67%	70%	10	9	90%	20%	11	11	100%	70%	10	10	100%	90%	9	4	44%	100%	11	8	73%	64%	9	8	89%	60%	9	9	100%	78%	119	90	76%	60%	62%
北2条広場	西	平日	20	0	0%	0%	19	8	42%	0%	22	7	32%	0%	20	15	75%	40%	22	22	100%	100%	20	20	100%	20%	20	9	45%	38%	20	20	100%	30%	22	20	91%	87%	20	0	0%	70%	19	16	84%	100%	22	22	100%	100%	246	159	65%	49%	4%
		休日	10	0	0%	0%	12	4	33%	0%	8	2	25%	0%	11	9	82%	45%	9	9	100%	100%	10	10	100%	20%	11	6	55%	40%	10	10	100%	0%	9	8	89%	100%	11	2	18%	0%	9	9	100%	100%	9	9	100%	100%	119	78	66%	40%	10%
	東	平日	20	20	100%	0%	19	19	100%	0%	22	22	100%	0%	20	15	75%	40%	22	22	100%	100%	20	20	100%	20%	20	9	45%	38%	20	20	100%	65%	22	20	91%	87%	20	0	0%	0%	19	16	84%	100%	22	22	100%	100%	246	205	83%	46%	4%
		休日	10	10	100%	0%	12	12	100%	0%	8	8	100%	0%	11	9	82%	45%	9	9	100%	100%	10	10	100%	20%	11	6	55%	40%	10	10	100%	70%	9	8	89%	100%	11	2	18%	0%	9	9	100%	100%	9	9	100%	100%	119	102	86%	46%	10%
憩いの空間	憩いの空間 (短期枠 10カ所)	平日	200	190	95%	82%	190	179	94%	0%	220	210	95%	0%	200	190	95%	62%	220	212	96%	57%	200	189	95%	20%	200	190	95%	95%	200	200	100%	99%	220	190	86%	83%	200	168	84%	74%	190	177	93%	76%	220	210	95%	88%	2,460	2,305	94%	63%	69%
		休日	100	95	95%	88%	120	105	88%	9%	80	79	99%	0%	110	99	90%	62%	90	84	93%	70%	100	100	100%	20%	110	109	99%	82%	100	100	100%	100%	90	80	89%	100%	110	86	78%	67%	90	89	99%	96%	90	90	100%	97%	1,190	1,116	94%	66%	63%
	北1条東西 東9カ所 西5カ所	平日	280	153	55%	39%	266	151	57%	40%	308	197	64%	42%	280	155	55%	67%	308	187	61%	63%	280	151	54%	38%	280	207	74%	64%	280	256	91%	73%	308	205	67%	70%	280	209	75%	41%	266	233	88%	50%	308	242	79%	57%	3,444	2,346	68%	54%	46%
		休日	140	66	47%	36%	168	99	59%	36%	112	76	68%	43%	154	89	58%	63%	126	83	66%	74%	140	66	47%	39%	154	121	79%	69%	140	126	90%	86%	126	89	71%	71%	154	103	67%	55%	126	109	87%	64%	126	106	84%	76%	1,866	1,133	68%	59%	44%
パフォーマンス スペース 8カ所 (13枠)	平日	260	20	8%	15%	247	27	11%	11%	286	25	9%	8%	260	20	8%	8%	286	22	8%	8%	260	20	8%	8%	260	20	8%	8%	260	32	12%	8%	286	22	8%	8%	260	20	8%	8%	247	19	8%	8%	286	44	15%	9%	3,198	291	9%	9%	15%	
	休日	130	14	11%	15%	156	16	10%	12%	104	10	10%	8%	143	11	8%	8%	117	9	8%	8%	130	10	8%	8%	143	11	8%	8%	130	17	13%	8%	117	9	8%	10%	143	11	8%	8%	117	9	8%	8%	117	18	15%	11%	1,547	145	9%	9%	14%	
憩いの空間 (広告クライアントのみ貸出)	広告スペース前 8カ所 (15枠)	平日	300	0	0%	0%	285	0	0%	0%	330	0	0%	0%	300	0	0%	0%	330	0	0%	0%	300	0	0%	0%	300	0	0%	1%	300	0	0%	0%	330	0	0%	1%	300	0	0%	0%	285	0	0%	0%	330	8	2%	0%	3,690	8	0%	0%	0%
		休日	150	0	0%	0%	180	0	0%	0%	120	0	0%	0%	165	0	0%	0%	135	0	0%	0%	150	0	0%	0%	165	0	0%	3%	150	4	3%	0%	135	0	0%	3%	165	0	0%	0%	135	4	3%	0%	1,785	8	0%	0%	0%				

主要貸出部分 年間稼働率	92%	65%	67%
-----------------	-----	-----	-----

札幌駅前通地下広場
(指定管理)

決 算 報 告 書

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

札幌駅前通まちづくり 株式会社

札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 番地

損益計算書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 4年 4月 1日

自 令和 5年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【 売 上 高 】		
利 用 料 収 入	111,034,516	
そ の 他 収 入	0	111,034,516
【 売 上 原 価 】		
売 上 原 価	33,636,768	33,636,768
	売 上 総 利 益 金 額	77,397,748
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		73,277,843
	営 業 利 益 金 額	4,119,905
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	539	539
雑 収 入	5,088,150	5,088,150
	経 常 利 益 金 額	9,208,594
【 特 別 利 益 】		
貸 倒 引 当 金 戻 入 益		0
	税 引 前 当 期 純 利 益 金 額	9,208,594
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	298,343
	当 期 純 利 益 金 額	8,910,251

販売費及び一般管理費

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 4年 4月 1日

自 令和 5年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	32,517,775
賞 与	10,932,191
法 定 福 利 費	7,760,560
福 利 厚 生 費	1,287,052
旅 費 交 通 費	1,053,456
通 信 費	629,408
減 価 償 却 費	375,742
地 代 家 賃	8,578,036
リ ー ス 料	263,830
保 険 料	206,859
水 道 光 熱 費	624,760
消 耗 品 費	604,736
租 税 公 課	6,510,982
事 務 用 品 費	371,500
広 告 宣 伝 費	274,882
支 払 手 数 料	932,225
諸 会 費	164,909
新 聞 図 書 費	137,001
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	24,751
印 刷 製 本 費	11,843
雑 費	15,345
合 計	73,277,843

売上原価報告書

札幌駅前通まちづくり株式会社（札幌駅前通地下広場指定管理）

自 令和 4年 4月 1日

自 令和 5年 3月 31日

単位：円

科 目	金 額
【 外 注 費 】	
委 託 費	13,231,620
【 経 費 】	
旅 費 交 通 費	8,110
通 信 費	2,450
寄 付 金	0
減 価 償 却 費	338,803
保 険 料	204,420
修 繕 費	465,758
消 耗 品 費	1,100,724
租 税 公 課	153,600
清 掃 点 検 費	13,999,844
管 理 諸 費	3,326,400
広 告 宣 伝 費	142,208
支 払 手 数 料	633,461
雑 費	29,370
売 上 原 価	33,636,768

決算報告書

(第13期)

自 2022 (令和4) 年4月1日
至 2023 (令和5) 年3月31日

札幌駅前通まちづくり株式会社
札幌市中央区北3条西3丁目1番地

貸借対照表

札幌駅前通まちづくり株式会社

2023（令和5）年3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 209,721,308 】	【流動負債】	【 53,164,993 】
現金・預金	192,238,577	未払金	12,471,766
貯蔵品	24,558	未払消費税等	6,274,700
前払費用	1,724,661	前受金	32,051,571
未収入金	11,225,512	預り金	2,366,956
未取還付法人税等	4,568,000	負債合計	53,164,993
貸倒引当金	-60,000		
【固定資産】	【 9,838,106 】		
(有形固定資産)	(4,333,301)	純資産の部	
建物	1,650,383	【株主資本】	【 166,394,421 】
建物附属設備	932,161	資本金	9,900,000
工具器具備品	1,750,757	(利益剰余金)	(156,494,421)
(投資その他の資産)	(5,504,805)	その他利益剰余金	156,494,421
敷金	5,478,600	繰越利益剰余金	156,494,421
長期前払費用	26,205	純資産合計	166,394,421
資産合計	219,559,414	負債・純資産合計	219,559,414

損益計算書

札幌駅前通まちづくり株式会社

自 2022（令和4）年4月1日

至 2023（令和5）年3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【 売 上 高 】		
受取指定管理料	5,690,000	
利用料収入	126,636,595	
壁面広告収入	118,959,716	
その他収入	12,894,653	264,180,964
【 売 上 原 価 】		
売 上 原 価	127,781,542	127,781,542
	売 上 総 利 益 金 額	136,399,422
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		125,250,645
	営 業 利 益 金 額	11,148,777
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	1,816	
受 取 配 当 金	54,168	
雑 収 入	11,430,700	11,486,684
	経 常 利 益 金 額	22,635,461
	税 引 前 当 期 純 利 益 金 額	22,635,461
	法人税、住民税及び事業税	1,233,774
	当 期 純 利 益 金 額	21,401,687

資料9 自主事業の実施状況

札幌駅前通地下広場協定書第21条第1項第4号の「自主事業の実施」の状況について、下記の通り報告します。

●利用者の利便性向上事業

(1) 備品貸出事業

地下歩行空間内は通路であり安全上、夜間に物を設置した状態にすることはできないことから、複数日にまたがる利用者の利便性を向上することを目的として、弊社が貸し出す台車に収まるサイズ内で、利用者の持ち込み品を預かるサービスを行いました。お客様からの要望の多いステージ、什器、リノリウム等の貸出も行いました。

年間利用料金収入：4,150,300円（2021年度売上1,833,900円）

(2) 札幌駅前通地下広場におけるビッグイシューと連携した案内ブースの設置業務

日頃より歩行者から、地下広場でのイベントや出店情報などを手軽に入手できる場所の設置要望があがっていました。この要望に応え、歩行者の利便性の向上を図るため、地下広場の案内ブースを設置しました。案内ブースの設置にあたっては、ビッグイシュー事務局と連携し、地下広場のイベント情報や地下歩行空間の道案内などの問合せに対応しました。

設置期間：通年

設置場所：北3条交差点広場（東）

案内体制：1人体制

イベント案内	道案内	観光案内	その他
796	4182	11	447

●にぎわい創出・育成事業

(3) チ・カ・ホLIVE

チ・カ・ホの利用者からも好評を得ているライブを札幌市内で活動している団体と協力して実施いたしました。通常のコンサートでは味わえない演者との距離感や客席の配置、演者のトークやレクチャーなど、チ・カ・ホで行う無料コンサートならではの楽しみ方を通じて、新たなファン層の拡大を図りました。

・Sapporo Sound Square（年7回） 共催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会

・PMF×チ・カ・ホコンサート（年1回） 共催：公益財団法人PMF組織委員会

(4) 北海道“みりよく”発信プロジェクト

北海道の各地で行われている、旬の魅力あふれる取組を紹介しました。このプロジェクトは、

札幌駅前通地下歩行空間の国道部分を管理する北海道開発局札幌開発建設部との協働で実施しました。

実施期間：通年

(5) 北海道インフォメーションボード

地下広場の活用コンセプトの一つである「さっぽろ・北海道の魅力発信」を目的とし、北海道インフォメーションボードを設置しました。対象は、北海道内の市町村が主催、後援しているイベント・お祭り、または広く一般の方が参加可能なイベント・お祭りで、市町村が簡単に用意のできるチラシを掲示できるボードとしました。

実施日：通年

利用料：73,150 円（2021 年度売上 107,800 円）

●地下広場活用事業

(6) まちなかサロン事業（憩いの空間・接続空間）

地下歩行空間は520メートルという長い空間であることから、椅子・テーブルを設置し行き交う人々が休み・憩うことが可能な空間（まちなかサロン）を創出しました。また接続空間（日本生命札幌ビル、札幌三井 JP ビルディング、敷島ビル、札幌大通西4ビル、札幌フコク生命越山ビル、大同生命札幌ビル、ヒューリックスクエア札幌）に椅子・テーブルを設置することで、人々が滞留し、憩い交流できる空間を創出しました。感染防止対策として設置位置を離すなど対策をとりました。

実施期間：通年

(7) 市民活動促進のためのパンフレットコーナー設置事業

日頃まちづくり活動に馴染みのない人たちの活動への理解、参加、寄付等の協力の促進を目的に、当施設内に情報コーナーを設置しました。

運営については、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と協定を結び、事業を実施し、パンフレットラックやパネルの設置によるまちづくり活動団体の PR パンフレットやポスターを最大72件配架、掲示しました。

実施期間：通年

(8) 研修・修学旅行生の受け入れ事業

札幌に宿泊研修や修学旅行で訪れる学生たちの活動の一環として行われる各地域の広報活動（観光 PR 等）に対して場所の提供を行う事業です。

利用数：6校

(9) 『Sapporo City Wi-Fi』 運用事業

モバイル端末によるインターネット利用が増加しており、無線 LAN 環境の整備の需要が高まっており、とりわけ、手軽かつ安価にインターネットに接続する手段を持たない海外からの来訪者からの無料の公衆無線 LAN の整備に対する期待があります。当施設においても札幌市で実施している「Sapporo City Wi-Fi」（以下、当 Wi-Fi）を導入し運営しました。

実施期間：通年

利用可能場所：各交差点広場付近

利用料金：無料

年間利用者数：170,438（月平均：14,203 アクセス）

(10) 総合案内板設置事業

札幌市経済観光局所有のデジタルサイネージによる広告付きの観光案内板（総合案内板）を地下歩行空間内にも設置することで、タイムリーな観光情報の発信を行います。また非常用電源を備え、災害時には街中で滞留している観光客にも情報提供をおこなっていきましました。

実施期間：通年

利用可能場所：北1条イベントスペース（西）

利用料金：無料

(11) チャリティーイベント等支援事業

東日本大震災による被災地の復興支援を目的として、当施設を使用し、開催される公共団体及び民間のチャリティーイベント等を関係団体と協力して実施しました。

実施期間：通年

(12) 新聞社の「号外」配布

各新聞社からの要望に応え、「号外」配布場所として地下広場のうち北3条交差点広場（西）、北大通交差点広場（東・西）、札幌駅側スペースの4か所を提供しました。

(13) kuraché（クラシェ）

北海道を中心としたこだわりのある「つくり手」を募り、単に商品を販売するだけではなく、モノづくりに込めた思いやこだわり・スタイルをお客様にお伝えし、「北海道の暮らしに新たなシーンを提案する」場として kuraché を開催しました。

毎回、テーマに沿った商品構成で展開し、ディスプレイ方法にも配慮しています。全体として統一感のある設えで視覚的にも魅力ある空間づくりを行い、都心部の賑わいの創出につなげています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出展者数を例年の14ブースから最大11ブースまで減らし、各店舗の間隔を十分に取れ余裕を持った会場レイアウトで開催しました。

実施期間：7月、8月、10月、12月、2月 延べ38日間

実施場所：北1条イベントスペース（東）

出店料：3,632,220円

(14) 地方自治体応援企画「CHIKAHO LOCAL CENTER」

コロナ禍で思うようにイベントができない地方自治体が遠方からでも出展がしやすいように、場所代と備品代をセットにした特別プランを期間限定で設定しました。また不慣れな札幌での出展をバックアップする協力体制をととのえ、イベントをしやすく、効率的なPRが行えるようになることで、北海道の活性化、さらには本州との架け橋にもなることを目指しました。

(15) 札幌駅前通地下歩行空間における献血者呼び掛け計画

多数の通行者がいる地下歩行空間において、通行人に呼び掛けを行うことにより多くの献血者を献血ルームに誘導することができ、北海道における輸血用血液製剤の安定確保に迅速かつ大きな効果が期待できるため、献血ルームへの誘導告知を行いました。

実施期間：通年

主催：北海道赤十字血液センター大通献血ルーム・札幌駅前通まちづくり株式会社

(16) さっぽろ八月祭 2022 関連事業

2015年度より開催されている「さっぽろ八月祭」（以下、「八月祭」）は、札幌駅前通地区のビジネスパーソンをはじめ、来街者の方々が夏のひとときを快適に過ごすことを目的に開催しており、こうしたイベントを通して、札幌駅前通地区の地域価値向上を目指しています。

3年ぶりの開催となった今年は、感染症対策を講じ、マスク着用、人数制限ありの盆踊りやアルコール提供を行わず、対面とならないようベンチのみ設置した飲食スペースなど安全に行うことを念頭に実施いたしました。

祭の象徴である大風呂敷やのぼり旗は感染症対策を十分にしながら修復作業や制作を行い、祭りの1週間前からチ・カ・ホに掲示。また八月祭当日にはアカプラに風呂敷を敷き詰め、チ・カ・ホとアカプラの連動をさせることで都心部の賑わい創出に寄与いたしました。

日時：2022年4月16日（土）～7月30日（土）

場所：札幌駅前通地下広場 北3条交差点広場（東）・（西）

内容：大風呂敷の修復、のぼり旗の制作、会場の装飾、パンフレットラック設置他

(17) SAPPORO PERFORMANCE PARTY 2022

2018年に初開催されたSAPPORO PERFORMANCE PARTY（SPP）は、北の大都市・札幌の玄関口である札幌駅前エリアで複数の会場が一体となってにぎわいを生み出すパフォーマンスフェスティバルです。SPP2022は、新型コロナウイルス感染防止策として大規模な開催は

見送り、単一会場で6月と9月に2日間ずつ行うステージショー形式のイベントとなります。

観客席と常に2m以上の距離を保つことを条件に、出演者はマスクを外した状態でパフォーマンスを実施しました。また、観客についてはマスクの着用を条件に歓声などを許可することで積極的なマスク着用を促しました。このように、新型コロナウイルス感染症対策を守ることによってイベントがより楽しめる状況をつくりました。

日時：2022年6月4日（土）～5日（日）、9月10日（土）～11日（日）

会場：札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場（西）

出演：道内外のパフォーマー

(18) 第2回札幌駅前通アワード受賞作品展

まちづくりとアートの未来をつくる「札幌駅前通アワード」は、「札幌駅前通」を中心に札幌を文化的で創造的なまちとして発信することを目的に誕生しました。第2回札幌駅前通アワードは「チ・カ・ホ」の広場を舞台とし、広場の機能や空間を活かしたまちづくりのプラン（まちづくり部門）、現代アートの作品展示プラン（アート部門）の2部門を募集して、まちづくり部門最優秀賞に日高恵理香さん、アート部門優秀賞に佐藤壮馬さんが選ばれました。今回実際に展示したことで、約9000人以上の方が足を止めて15mのベンチに座ったりするなど、いつもと違うチ・カ・ホを楽しんでいただけました。道路であり一日約10万人が通るチ・カ・ホは規制が多く、何かやっても埋没してしまうエネルギーあふれる場であると同時に、この通行量と広場空間の共存は国内でも稀有な存在で、制作者がまだ見ぬチャンスと出会う可能性と、普段芸術文化に触れる機会のない人々が新しい感性に出会う可能性がある場所です。多様な視点を持つアートや建築的発想が私たちの街と生活を豊かにしてくれると信じて、地方都市でも制作者が発表しそれを享受できる小さな機会を作り続けたいと思います。

日時：2022年6月10日（金）～6月18日（土）

会場：札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ） 北1条イベントスペース（東）

(19) SAPPORO Flower Carpet 2022

札幌市北3条広場(アカプラ)のオープニング記念として2014年に1回目が開催されました。2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントは中止となり、2021年は予定していた開催規模を大幅に縮小して開催いたしました。本年もコロナ禍での開催となることから、例年の市民ボランティアの募集は行わず関係者のみでの制作とし、昨年同様「鑑賞型」のイベントとして実施いたしました。

生憎制作日が雨天となってしまったため、アカプラでの制作は1日順延することとなったほか、アカプラに制作予定だったカーペット1枚を急遽チ・カ・ホに制作することとなりましたが、多くの方にご来場いただきました。また、アカプラのバーチャル空間である「PARALLEL SAPPORO KITA3JO」上にも「バーチャルフラワーカーペット」をオープンし、ご来場いただけな

い方にも楽しめるようにしました。会場では密になるような状況は生まれず、色鮮やかなフラワーカーペットを楽しんでいただきました。こうした事業を通じて地上・地下連動した活性化につなげていきたいと考えています。

日時：2022年6月24日（金）～6月26日（日）

場所：札幌市北3条広場（アカプラ）、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）、
赤れんが テラス、そらのひろば ステラ9、大丸札幌店

主催：サッポロフラワーカーペット実行委員会、札幌駅前通地区活性化委員会
（事務局：札幌駅前通まちづくり株式会社）

(20) Meet Market+空間利用調査

札幌駅前通地区では、施設の老朽化等に伴いビルの建替更新が進んでいます。地下歩行空間と沿道ビルが接続することで、「接続空間」は増加する一方、これまで市民に貸し出しをしていた「憩いの空間」は今後減少していくことが見込まれており、広場の貸出面積の減少及びそれに伴う収入減が予想されております。

これから増える「接続空間」や民間施設内と「憩いの空間」を一体的に活用することによって、空間の連続性を生み、まちの回遊性は高めることができると考えております。これらを検証するため、接続空間等を活用したイベント及び利用調査を実施しました。

当日は、市内クリエイター4店舗が参加いただきマーケットを実施したほか、通行者を対象としたアンケート（アンケート回答人数300名）や人流調査等を行いました。これから詳細を分析し、今後の検討に役立てていきたいと思っております。

日時：2022年10月29日（土）・30日（日）10:30～17:00

実施場所：チ・カ・ホ sitatte sapporo 前 憩いの空間・接続空間
sitatte sapporo B1F ステップガーデン前

主催：札幌駅前通地区まちづくりプラットフォーム検討会議・sitatte sapporo

(21) チ・カ・ホのお正月

例年貸し出しを行わない年末年始に実施している「チ・カ・ホのお正月」を今年度も実施しました。今回は新型コロナウイルス感染対策をし、札幌南高等学校書道部による新年を明るく盛り上げる力強い揮毫パフォーマンスを実施しました。

正月飾りは風間天心氏に依頼し、氏の作品の特色である水引を用い、兎年ということで「餅をつく兎」の姿を展示しました。縁起物としてにぎやかで楽しく華やかな作品となりました。毎年楽しみにしている人がおり、今年も立ち寄りや記念撮影などの人が多く見られました。

日時：2022年12月28日（水）～2023年1月4日（水）

実施場所：北3条交差点広場（西）

協力：北海道札幌南高等学校書道部、風間天心

(22) サッポロ・パラレル・ミュージアム

サッポロ・パラレル・ミュージアムは、札幌駅前通のまちなかとウェブサイト上の2カ所同時にアート作品を展開することで、COVID-19の流行で失われたまちの回遊性を高めるとともに、世界中のどこからでもアクセス可能にするハイブリッドな展覧会です。2回目となる今回は札幌駅前通5施設での作品展示のほか、クリエイターのグッズが購入できる「パラレル・ミュージアム・ショップ」や「インフォメーションブース」をチカホ会場に設置しました。本展覧会のメイン会場としてチカホ会場を展開し、会期中は約13,000人の方にご来場いただきました。

日時：2023年2月4日（土）～2月12日（日）

実施場所：憩いの空間 北1東

主催：札幌駅前通地区活性化委員会

(23) G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合関連事業

2023年4月に日本で開催されるG7サミットの関係閣僚会合のうち、「気候・エネルギー・環境大臣会合」が札幌市で開催されることが決定し、国や北海道、札幌市が協力し、地域全体でこの会合を受け入れ、盛り上げていくことが決まりました。会期が始まる前から会期終了までの間、札幌の目抜き通りに位置するチ・カ・ホではさまざまな装飾を行い、機運醸成に寄与しました。

日時：2023年2月1日（水）～3月31日（金）

場所：札幌駅前通地下広場 憩いの空間

主催：G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合実行委員会（事務局：札幌市経済観光局）
札幌駅前通まちづくり株式会社

内容：開催に向けたカウントダウンモニュメント設置、告知バナー設置、他

(24) ヒューリックスクエア札幌 工事中仮囲い活用

ヒューリックスクエア札幌ビルは、2022年8月に1期工事部分が完了し2023年3月に開業される予定です。現在は2025年6月の2期工事完了に向けて工事が継続され、工事完了までの間、地下接続部には工事中仮囲いが設置されています。

この仮囲いが長期間設置されている状況では、1期接続部分の出入口がわかりづらく、地下広場の設置目的に照らしても好ましくないことから、通行者の利便性向上や地下広場の景観維持向上、にぎわい創出のため、接続空間の休憩スペースの一部にシステムパネルを設置し、施設案内等を掲出します。

実施期間：令和5年1月17日～令和5年3月31日

場所：札幌駅前通地下広場 接続空間（ヒューリックスクエア札幌前）

内容：システムパネルを設置し、施設案内等を掲出。

運営：ヒューリック株式会社、札幌駅前通まちづくり株式会社

資料 11 環境配慮への取組結果

札幌駅前通地下広場管理業務仕様書第4-1-(3)の「環境配慮の推進」の取組結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 日常業務における OA 機器の省エネモード設定及び不使用時の電源断を徹底した。
2. 業務の IT 化を図ることで、業務時間の短縮による省エネルギー及びペーパーレスによる省資源化を図った。
3. ごみ減量のため、ミスコピー紙の裏面活用を徹底した。
4. 備品については、グリーン購入ガイドライン指定品を購入するよう心がけた。
5. 清掃業務において、毒素を含まない洗剤を使用するなど、各業務遂行にあたり必要となる備品・消耗品等については、環境に配慮した製品を採用するよう心がけた。
6. 広場の利用者にはゴミの持ち帰りをお願いした。
7. 札幌駅前通まちづくり株式会社研修計画書に基づき、環境配慮に向けた研修を実施した。

引き続き、環境配慮については、職員は常に心がけることとし、利用者に対する協力依頼を続けていきたい。

以上